

樟木館日和

しゅもくかんびより ◆ 第十二号



発行日:2015年9月28日

発行:文化のみち樟木館

指定管理者:特定非営利活動法人樟木俱楽部



美しい灯りの ともる館

文化のみち樟木館。

輸出陶磁器商。

井元為三郎によつて建てられました。

その館は、都會のけん騒を忘れさせるよう
静かに佇み、大正末から連なる記憶を

今へ伝えていきます。

晩秋の夜、冬銀河。

灯り越しのステンドグラス。

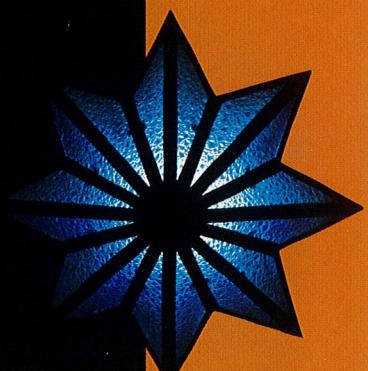
瑠璃色の星形照明。

遠い昔、ある日の何気ない日常の

「いってらっしゃい」「ただいまとおかえり」、
異国からの客人の「おむかえ」、

そこに生きた人々の、

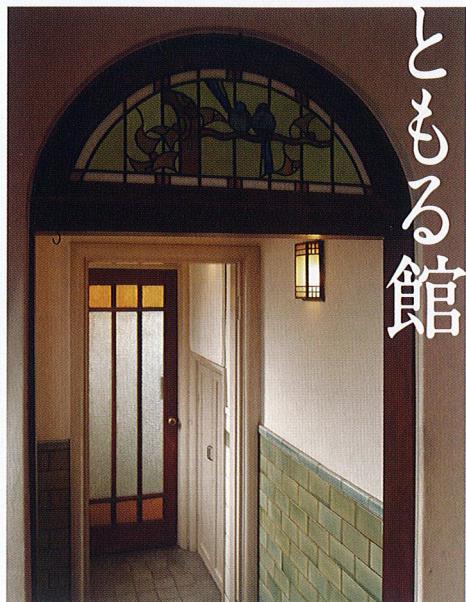
あらゆる場面を玄関で照らしつづけたのは、
瑠璃色の美しい灯り。



玄関を出た塗り壁仕上げの
庇(ひさし)に埋め込まれて
いる、八角の星形照明

美しい灯りの

文化のみち樺木館は、大正末期から昭和初期にかけて陶磁器の貿易商であった井元為三郎によって建てられました。緑豊かな庭園を囲むように和館と洋館が併設された住宅様式は当時の流行で、それは同時に富の象徴でもありました。古い町並みが残された文化のみち界隈のお屋敷のいくつには、今もその様式の名残がうかがえます。それまで教会や公共の建物でしか見られなかった西洋スタイルのステンドグラスや個人の住宅の各所にとりいれたのも、この時代がはじまりと言わればアルヌーボー、アールデコのデザインの世界的流行とともに、暮らしの中にデザインが一気に取り込まれていった時代とも考えられます。照明器具もまた、電気の普及を経て、その用途のみではなく、意匠的な要素を伴って一般家庭に急速に広まつていきました。樺木館の和館洋館の各所には、竣工当時から90余年を経た現在も、当時のものと思われる、端整なデザインと趣のある照明器具がいくつか残っており、今も変わることなく美しい灯りをともし続けています。



別名暁りガラスとも呼ばれます。美しい曲線と幾何学的な様が、灯される光によってほんのりと浮かびあがり、表情のない下をこの照明器具のあかりひとつで、独特の趣のある空間に仕上げています。この照明器具は、性用洗面室にも取り付けられ、いることから、為三郎のお気にりであったとも考えられます。



写真:1 洋館1階洗面室壁面照明

洋館の1階洗面室の壁面照明(写真・1)は、ガラス表面にダイヤの形のような凹凸がキラキラと輝くように見えるのが特徴的なダイヤガラスが使われており、プロンズ色のフレームには大正時代の格子窓を連想させるかのような直線的なデザインが施されています。奥に続く洗面室扉のガラスにも、鮮やかなアンバー色とクリア色のダイヤガラスが使われています。入口上部のドーム型の欄間部分には、現在の樟木館のシンボルともなっている青い鳥をモチーフにしたステンドグラスがめ込まれており、外国人バイヤーの商談にも使用したとされるこの洋館の洗面室は、建て主である、為三郎のことだわりぶりを随所に窺い知ることができます。

(注1)

A blue starburst-shaped stained glass window in a stone archway.

写真:3 玄関庇に埋め込まれた照明

この独特の星形のかたちについては諸説ありますが、檜木館の洋館の玄関は、風水や方位学上で運気がいいとされている南向きに位置されていて、玄関照明の星形の八角は、風水の八方を意味し、「気を招き入れる玄関」に縁起が良いとされる「八方」をかけあわせ、「八方からの良い気の招き入れ」へのこだわりであったとも考えられます。この星形照明は、朝や昼には鮮やかな美しさを放ち、暗闇にくっきりと浮かぶ瑠璃色の美しさは、玄関扉のまわりに施された手焼きタイルの浮彫やステンドグラスをより幻想的に演出しています。玄関照明の普及がまだ一般的ではなかった当時、夕闇へと暮れなすむほど浮かび上がるこの星形照明の出迎えは、この館を訪れる人の心を時に和ませ、時に幻想的に、時に感傷的に、さぞ

の各所にとりいれたのも、この時代がはじまりと言われ「アールヌーボー・アールデコ」のデザインの世界的流行とともに、暮らしの中にデザインが一気に取り込まれていった時代とも考えられます。照明器具もまた、電気の普及を経て、その用途のみではなく、意匠的な要素を伴って一般家庭に急速に広まつていきました。樺木館の和館洋館の各所には、竣工当時から90余年を経た現在も、当時のものと思われる、端整なデザインと趣のある照明器具がいくつか残っており、今も変わることなく美しい灯りをともし続けています。

遠い昔大きなトランクに色鮮やかに絵付けされたたくさんの陶磁器を詰め込み、船旅で遙か遠い外国の地を目指した貿易商、井元為三郎の姿が目に浮かんでくるようです。

ガラス部材に多用された。

(注2)

ガラス表面に金剛砂(こんごうしゃ)と呼ばれる石榴(ザクロ)石を粉末上にしたもの研磨材として吹き付け、表面をあえて不透明に仕上げて模様を浮かび上がらせる技法を用いて作られたガラス。吹き付ける砂の具合によって透明度を微妙に調節することで、目隠し材として家の建具や家具のはめこみ

ガラス部材に多用された。

(注2)

ガラス表面に金剛砂(こんごうしゃ)と呼ばれる石榴(ザクロ)石を粉末上にしたもの研磨材として吹き付け、表面をあえて不透明に仕上げて模様を浮かび上がらせる技法を用いて作られたガラス。吹き付ける砂の具合によって透明度を微妙に調節することで、目隠し材として家の建具や家具のはめこみ

最近の樟木館

文化のみち樟木館
館

文化のみち樟木館のホームページでは、最新のイベント情報やトピックスをご覧いただけます。

ホームページのトップ画面「最近の樟木館」では、めぐる季節を背景に、庭や建物、何気ない日常の樟木館を紹介しています。

ご来館いただいた方の数だけ、美しい風景があります。

それぞれの樟木館の風景を見つけていらっしゃいませんか。

文化のみち樟木館

トップページ | 住所・交通案内 | 案内図 | 貸室案内 | イベント情報 | お問い合わせ

